

7月16日（日）オープンキャンパス 体験授業一覧

開催時間 / 11:10～11:40

学部学科名	タイトル	内容
経済学部 経済学科	日本の格差社会を考える：政策的背景と現状、そしてこれからのこと	競争と自己責任に基づく格差社会は、どのようにしてつられ、どこへ向かうのでしょうか？ その政策的な起点と現在の格差の現状、そしてAI時代としてのこれからの考えます。
経済学部 国際経済学科	アジア・太平洋の国際関係史：ポリネシア人の大航海	歴史は将来を準備する貴重な学問であり、多くの見解から考察する価値がある。本講義は海を中心に長期間でアジア・太平洋地域の歴史を考察する。「ポリネシア人の大航海」というテーマから旅立つ。
経済学部 経営学科	経営に数学を活用しよう～数理モデルを用いた出店計画入門～	経営判断は数値を使って行うことが大切であり、学校で学ぶ数学は重要な道具となる。本授業では利益を計算する計算式（数理モデル）を使い、お店を出店するかどうか判断する方法を紹介する。
経済学部 観光経営学科	私たちは、なぜ旅したくなるのだろう？	私たちが「旅行に行きたい！」と思うきっかけは様々です。テレビで紹介された観光地に行きたいと思ったり、静かな場所でのんびりしたいなど。なぜ旅行したいと思うのか、その行動の背景を探っていくと面白いことがわかってきます。
法学部 法律学科	「あだ討ち」は是か非か？ ～前近代の朝鮮王朝での苦渋の対応～	目上の近親が他人に殺害された場合、誰でも一瞬は加害者への報復感情を抱くでしょうが、なぜ報復は犯罪なのでしょうか？今回は、かつてあだ討ちを「美德」だけ「犯罪」として扱った東アジア諸国のうち、朝鮮王朝の対応について紹介します。
法学部 政治学科	なんで外交の歴史を学ぶんだらう？	外交史とは何か、なぜ外交史を大学で学ぶのかを、2つの観点からお話します。第1に、外交＝外国との付き合いがなぜ大事なのでしょう？ 第2に、その歴史がなぜ重要なのでしょうか？ 外交史の醍醐味をぜひ味わってください。
文学部 日本文化学科	肌で感じる書道文化～優品・名品の本物に触れ空気を体感する～	普段、美術館のアクリルケースの向こう側にあるような書作品を、特別にみなさんの目の前で目に見せてしまいます。アクリル越しでは伝わらない、優品・名品が放つ「書の空気」を、ぜひとも肌で感じてください。
文学部 史学科	ペリー提督のお買い物～アメリカ使節一行の箱館滞在～	日米和親条約を結んだアメリカのペリー一行は、その後、開港場となった箱館を視察します。彼らの姿は箱館の人びとの目にはどのように映っていたのでしょうか。滞在時の町人の記録から、その様子を見てみましょう。
文学部 社会学科	帝京生ってどんな人？ ～ゼミ生による学内調査の結果から～	5月に吉野ゼミ（3・4年生計16名）で行った調査の結果を元に、帝京大学八王子キャンパスに通う学生の趣味や価値観を解説します。あわせて、Excelを使った初歩的な分析のやり方も解説します。
文学部 心理学	イリュージョンと心理学	ありふれた景色のなかにも、不思議なイリュージョンが隠れています。心理学はイリュージョンを使って、私達が物を見たり聞いたり感じたり仕組みを研究してきました。その幾つかをデモンストレーションを通して体験してみましょう。
外国語学部 外国語学科	スペイン語とスペイン語圏の紹介	スペイン語諸国の位置、それらの国々の興味深い場所について紹介します。次に、スペイン語を学習する上でのポイント、例えば発音における日本語との類似性や、国際社会におけるスペイン語の重要性に触れます。さらには挨拶や覚えやすいいくつかのスペイン語表現を練習します。
外国語学部 国際日本学科	先住民問題をとおして考える世界と日本	日本にはアイヌとよばれる先住民がいます。先住民とは、アメリカ、オーストラリア、北海道のように、移民が作った国や地域に、移民が来る前から住んでいた人々のことです。先住民問題をとおして海外と日本を比較しながら日本社会の課題を考えます。
教育学部 教育文化学科	“よりよい教育”を考えるための基礎スキル～調査とデータと分析のハナシ～	理想や思い込みだけで教育問題・社会問題を解決することはできません。問題解決のためには、まず「問題」の多角的な把握・分析によってその「実態」をしっかりとらえることが重要です。その有力な手段である社会調査の基礎を学んでみましょう。
教育学部 初等教育学科初等教育コース	道徳教育って何だろう ～子どもの豊かな心を育てる授業を知ろう～	いじめや不登校など、子どもの問題が山積しています。子どもが将来の夢や希望をもって楽しい学校生活を送るためには、子どもの豊かな心を育むことが大切です。道徳教育は、学校教育の中心となる大切な教育活動です。
教育学部 初等教育学科こども教育コース	こどものセンス・オブ・ワンダー（不思議！の感性）や科学の眼を育てる	多摩の里山であった八王子キャンパスの地の利を生かした授業の紹介です。畑を用いた野菜の栽培では学生が土を耕して野菜を育て収穫したり、育てた藍で布を染めたり、学内の梅を収穫して美味しい梅ジュースを作ったり、刈った枯草を利用して自然農法にも挑戦。自然と五感を大事にする保育・教育を目指します。
医療技術学部 スポーツ医療学科	健康に関する日本の将来と若者の将来	日本は世界の国々に比べ、急激な少子高齢化の時代を迎え、様々な問題点が指摘されています。将来、スポーツや運動指導の専門家として中心的な役割をされる皆さんと一緒に、健康に関する日本の現状と将来について考えてみましょう
短期大学 人間文化学科	カルチャーマップ（異文化の見取り図）で異文化理解力を高めよう	現代社会はグローバル化が進み、多様な文化的背景を持つ人々と接する機会が増えています。価値観も習慣も異なる人間同士が、誤解やトラブルを避けてつき合っていくには、最初にどのような知識を学ばなければいけいでしょうか。

開催時間 / 13:40～14:10

学部学科名	タイトル	内容
経済学部 経済学科	一本の笛だれにあげる？ 分配的正義の問い	一本の笛があります。3人の子どもが欲しがっています。一人目は笛と一緒に作った子、二人目は笛を上手に吹くことができる子、三番目はそれしか遊ぶものがない子。あなたはどの子に上げますか。それはどうしてですか。
経済学部 国際経済学科	「経済的価値」と「社会的価値」って何？ 両立できるの？	国際経営の大原則「企業価値創造」において地殻変動が起こっています。企業価値の決定因子が有形資産から無形資産へ転換しているのです。どうすれば、「経済的価値」「社会的価値」の双方を追求できるのか一緒に考えてみましょう。
経済学部 経営学科	経営に数学を活用しよう～数理モデルを用いた出店計画入門～	経営判断は数値を使って行うことが大切であり、学校で学ぶ数学は重要な道具となる。本授業では利益を計算する計算式（数理モデル）を使い、お店を出店するかどうか判断する方法を紹介する。
経済学部 観光経営学科	私たちは、なぜ旅したくなるのだろう？	私たちが「旅行に行きたい！」と思うきっかけは様々です。テレビで紹介された観光地に行きたいと思ったり、静かな場所でのんびりしたいなど。なぜ旅行したいと思うのか、その行動の背景を探っていくと面白いことがわかってきます。
法学部 法律学科	「あだ討ち」は是か非か？ ～前近代の朝鮮王朝での苦渋の対応～	目上の近親が他人に殺害された場合、誰でも一瞬は加害者への報復感情を抱くでしょうが、なぜ報復は犯罪なのでしょうか？今回は、かつてあだ討ちを「美德」だけ「犯罪」として扱った東アジア諸国のうち、朝鮮王朝の対応について紹介します。
法学部 政治学科	なんで外交の歴史を学ぶんだらう？	外交史とは何か、なぜ外交史を大学で学ぶのかを、2つの観点からお話します。第1に、外交＝外国との付き合いがなぜ大事なのでしょう？ 第2に、その歴史がなぜ重要なのでしょうか？ 外交史の醍醐味をぜひ味わってください。
文学部 日本文化学科	江戸時代の武士はどのような服を着ればよかった？	本授業では江戸時代の思想と文化を考える。我々は常に江戸時代の武士について考えるときに、丁髷と肩幅の広い肩衣と袴のイメージが浮かべられる。しかし、この服装は統治者でもある武士に相応しくないと考えた思想家は江戸前期から後期にかけていた。本授業では様々な文献資料を検討しながら、江戸時代の政治思想史における理想的な政治と武士像を考える。
文学部 史学科	ペリー提督のお買い物～アメリカ使節一行の箱館滞在～	日米和親条約を結んだアメリカのペリー一行は、その後、開港場となった箱館を視察します。彼らの姿は箱館の人びとの目にはどのように映っていたのでしょうか。滞在時の町人の記録から、その様子を見てみましょう。
文学部 社会学科	帝京生ってどんな人？ ～ゼミ生による学内調査の結果から～	5月に吉野ゼミ（3・4年生計16名）で行った調査の結果を元に、帝京大学八王子キャンパスに通う学生の趣味や価値観を解説します。あわせて、Excelを使った初歩的な分析のやり方も解説します。
文学部 心理学	イリュージョンと心理学	ありふれた景色のなかにも、不思議なイリュージョンが隠れています。心理学はイリュージョンを使って、私達が物を見たり聞いたり感じたり仕組みを研究してきました。その幾つかをデモンストレーションを通して体験してみましょう。
外国語学部 外国語学科	異文化コミュニケーションと何か？～文化と言語行動の観点から	「グローバル社会」と言われる今の時代、他国の文化に触れる機会も増えてきています。では、異なる文化を理解するとはどのようなことでしょうか。この体験授業では文化的な背景と言語の観点から異文化理解について考えます。
外国語学部 国際日本学科	岩倉使節団：日本近代化の行方を探る世界一周の旅	1871年7月、明治新政府は300もの藩を廃して全国を統一する「廃藩置県」という無血革命に成功する。そのわずか4か月後に、岩倉具視が特命全權大使、木戸孝允と大久保利通が副使となって、1年半にも及ぶ米欧視察の旅に出る。本講義では、西洋文明の受容を目指した岩倉使節団の見聞を紹介し、今現在日本の国際化に関して皆さんと一緒に考える。
教育学部 教育文化学科	“よりよい教育”を考えるための基礎スキル～調査とデータと分析のハナシ～	理想や思い込みだけで教育問題・社会問題を解決することはできません。問題解決のためには、まず「問題」の多角的な把握・分析によってその「実態」をしっかりとらえることが重要です。その有力な手段である社会調査の基礎を学んでみましょう。
教育学部 初等教育学科初等教育コース	理科は、生活する中でどのようなことに役立つのでしょうか	昨今、理科離れが進んでいるといわれます。理科は覚えることが多いから・・・、計算が苦手だから・・・等々。しかし子どもは理科は大好き。理科で学んだことが、生活する中でどのように役立つのか考えてみましょう。
教育学部 初等教育学科こども教育コース	子どもの心を見てみよう	「子どもの理解と援助」という授業では、子どもの発達に沿った心身の発達を、幼稚園や保育園での具体的な子どもの姿を通して理解していきます。本体験授業では、保育映像を通して、皆さんと一緒に考えながら、3歳児の心のなかを見てみましょう。
医療技術学部 スポーツ医療学科	コンディションとは？コンディショニングとは？	スポーツ選手において「コンディション」や「コンディショニング」といった言葉がよく使われていますが、この授業では、コンディションやコンディショニングの捉え方について説明していきたいと思います。
短期大学 現代ビジネス学科	「エニアグラム」で自分の新たな一面を知ろう！	「エニアグラム」とは、タイプごとの優劣ではありません。 ・自分の持ち味ややりがちな行動を把握する。 ・自分のことを知ることで、成長の方向付けができる。 ・自分と違う他人を知ることで、多様性に対応できる。 もので、大企業の中でも活用されています。